

おおかわ 園 だ よ り 2月

・2025



暦の上では、もうすぐ立春。園庭の木々の蕾は少しずつ膨らみはじめ、冬の寒さの中お日様や土から栄養をもらい、春にきれいな花を咲かせようと頑張っているのを感じます。子どもたちからは、これまでの沢山の経験の中で出来る事が増え、ちょっとした変化に驚かされています。小さいクラスの子たちからは、「パンツやズボンを自分ではこうしてる！」「トイレの中で、服の着脱ができるようになってる！」「部屋の扉を開けても、自由に出ないようになってる！」と各クラスで変化も色々。大きいクラスの子たちからは、自分のことだけでなく友だちの事を考えて行動する姿がうんと増えてきました。きっと園庭の木々と同じように、様々な経験の中で栄養をしっかり蓄え、進級・進学という素敵な花を2ヵ月後に、咲かせてくれることでしょう。

どう考える？ 大川保育園の節分！

子どもたちがドキドキしている節分が、もうすぐやってきます。お家でも節分についてお子さんから話が出ていたり、怖がったり、楽しみにしていたりしていませんか？ 保育園では、どのクラスも赤・青・黄と鬼の面づくりでにぎやかです。さて、その節分ですが・・・

節分は日本独自の文化で、邪気除けのために豆をまき、鬼退治をする習慣です。鬼は絵本・物語など様々な場所や物に登場しますが、節分の鬼は「節分の日に訪れ、終わると帰っていく」いわば来訪神。来訪神は地域の人々に幸せをもたらし、災いを取り除くと信仰され、世界中に多種多様な行事が伝承されています。秋田県の「なまはげ」もその一つです。大川保育園の節分の鬼は、とても本格的な鬼で、きっと今年も怖がる姿がいっぱいになることでしょう。ですが、怖がらせることが目的ではありません。『今年一年の安全や健康を願う』、大きいクラスの子どもたちは『友だちと力を合わせ知恵を出し合い、困難を乗り越える』というねらいもあります。それに人知の及ばない存在に思いを馳せることには価値があり、怖い対象がなぜ登場するのかがわかっていて、安全な場所・安心できる大人(守ってくれる存在)がいる中で怖い思いをすることは、貴重な経験だと考えています。鬼は、豆・イワシの頭・ヒイラギの葉を嫌がり園舎の中には入ってきません。(でも少しでもぬかりがあると、入ってこようとするので知恵を出し合い、どうするか考えるのです。)そして、いざというときは大人が守ってくれるという絶対的なものがある大川保育園の節分。

さあ、今年の子どもたちはどんな姿を見せてくれるのでしょうか。きつときりん組の子どもたちは、「今年は自分たちが小さい子たちを守らなければ！」と勇敢な姿を見せてくれることでしょう。その姿を見た小さい子たちは、「きりんさんが守ってくれた」と恐怖より温かさが心に残ることでしょう。節分を終えて帰ってきた時には、「よく頑張ったね」「今年は病気にならずに元気に過ごせるね」「もう大丈夫」と安心する言葉をかけてあげて下さいね。

1	土	保育参観(未満児)
2	日	
3	月	節分
4	火	地域交流(年長)
5	水	
6	木	
7	金	うさぎ組クラス懇談
8	土	
9	日	
10	月	防災訓練
11	火	建国記念の日
12	水	
13	木	
14	金	りす組クラス懇談
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	誕生会
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	

※実習生が1名来ます